

精進料理

精進料理とは、近親者が精進する間の食事を指す。

服喪期間中に肉や魚貝類などの生臭ものを一切口にしないことが本来の習わし。

四十九日の忌明けに普段の食事に戻って肉、魚類、飲酒をしますがこのことを「精進落とし」といいます（お斎「おとき、おとぎ」、精進明け、精進上げ、精進落ちとも言う）

現在では、服喪期間中に「精進料理」を食するという習慣はなくなりましたが、葬儀・法要後に出席者へ無事の終了を感謝して「お礼やもてなし」としての「精進落とし」が振舞われています。

精進落としでは、喪主・遺族は全員にお酌をして回りながら感謝の気持ちを伝えてもてなします。

精進落としの席次は、喪主がお世話になった人たちを接待する宴席ですので主賓である僧侶が最上座に、続いて世話役代表、会社関係者、友人、近親者、親戚関係などが順に座り、遺族、喪主は末席に座ります。

葬儀の曲友(かねとも) 札幌

<http://kanetomo.2lala.net/temple.html>

曲友(かねとも)